



モッピー

だよ

特定非営利活動法人
ふれ愛びっく大阪クラブ
責任者 竹中重夫
柏原市大正1丁目3番25号
<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/fureai/>

第20回中日本グランドソフトボール愛知大会

三重県4回目の優勝!!

平成16年5月2・3日、愛知県一宮市「愛知県立一宮総合運動場」において、第20回中日本グランドソフトボール愛知大会が、第4回全国障害者スポーツ大会地区予選会の前哨戦として、盛大に開催された。全国各地から11チームが参加、2日は、3チームによる予選リーグ戦、3日は決勝トーナメント戦等17試合が行われた。

2日は、予想に反して寒い一日であったが、予定通り試合を消化。3日は、早朝より雨となり、開催が危ぶまれたが、試合時間の短縮等を行い、大会を無事終了することが出来た。

優勝した三重県チームは、京都・大阪府・奈良県の近畿チームを撃破、決勝戦は、昨年18回愛知大会で優勝した閩人東京との対戦となったが、片山投手の好投、西脇選手の3ランホームラン等で9対2と見事、全国障害者スポーツ大会2年連続準優勝の実力を発揮し、平成10年優勝以来久しぶりに決勝戦を勝利し、4度目の優勝となった。

なお、片岡・西脇選手が最優秀選手賞を獲得し、金子芳博中日本グランドソフトボール連盟会長から表彰された。この大会に、ふれ愛びっく大阪クラブから審判員15名を派遣、また、第5回全国障害者スポーツ大会(平成17年度)を主管する岡山県ソフトボール協会から審判員4名、京都「どろんこの会」審判員2名も参加いただき、大会運営を行った。なお、大会運営のボランティアとして、愛知県身体障害者スポーツ指導者協議会・手話サークルひまわりの方々にも参加いただいた。ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。



優勝	三重県	4勝0敗
準優勝	閩人東京	3勝1敗
第3位	愛知県	2勝1敗
第3位	奈良県	1勝2敗
第5位	山梨県	3勝1敗
第6位	滋賀県	2勝2敗
第7位	京都府	1勝2敗
第8位	岐阜県	1勝1敗
第9位	大阪府	1勝2敗
第10位	浜松	0勝3敗
第11位	大阪市	0勝2敗

どうした大阪府・大阪市 今一層の奮闘を期待する!!

大阪府・大阪市チームは、この大会で投手が好投するも打線が振るわず、9位・11位の成績に甘んじた。開催まであと3週間となった第4回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会までに、充分調整され好成績を挙げることが期待する。

グラソフの達人



昭和26年9月15日生まれ
おとめ座 B型
愛知県チームマネージャー

チームに人あり(2)

「愛知県チーム」 広瀬 保夫さん

Q: グラソフとの出会いは?

中学2年の時、県立愛知盲学校へ転向してきた時です。学校では陸上競技が盛んでしたが、生徒数が少ないので、野球のほうにもかり出されて、最初に見たときは「ヘェ〜10人でやるのだ」なんて思いましたね。

Q: グラソフの魅力は?

友達づくり、人との関わり、これにつきますね。あと、僕個人としては、運動不足解消のため、屋外に出て、球拾いもいいものです。

Q: 富山国体では優勝、そして、全日本選手権では3連覇されていますが、

富山での優勝以後、国体(現、全国障害者大会)から遠ざかっています。今年は是非とも、埼玉に行きたいと思っています。それと全日本はもちろん、4連覇を狙います。僕は今まで、マネージャーとして4回宙に舞いましたが、あの感激は忘れられません。チームの皆には感謝!感謝!です。

Q: これまでのグラソフ人生のなかで、心に残ることは?

昭和58年群馬国体に捕手として出場した時のことなのですが、チームは3位に終わりました。僕は53年に社会人チームに加入して以来、国体出場は初めての経験で「3位でも凄いなあ」と思っていました。チームの皆も喜んで、金子監督(当時)を胴上げしようとしたのですが、溝上主将(当時)が、その胴上げに待ッ!を掛けました。彼曰く「この胴上げは優勝するまで取っておこう、する時は優勝した時だ。」僕は、このセリフに感動しましたね。ホント、ホレましたよ。宙に舞えなかった金子監督には、申し訳なかったけど、ほんとにその通りだと思いました。溝上君がチームを引っ張って行ってくれる。僕は精一杯支えようと思い、その後、マネージャー専任になりました。このチームが優勝するためなら、球拾いでも何でもやろうと思ひ、現在に至っています。

Q: ステキなお話しですね。では、チームの今後を見据えて一言

グラソフに対する情熱はまだまだ熱いものがあるのですが、平均年齢が増加する一方なんです。若い力が欲しいですね。望みは、それだけです。

チームのために「縁の下の力持ち」であり続けたいと、広瀬さん。そんな彼を評して「うちのチームになくてはならない人」と全幅の信頼を寄る溝上監督。スポーツによって培われたきづなに感動しました。

5月29-30日	第4回全国障害者スポーツ大会(リハーサル大会)	埼玉県
6月19日	ふれ愛びっく大阪クラブ総会	市民学習センター(難波)
8月21-22日	ふれ愛びっく大阪クラブ競技役員宿泊研修会	奈良県田原本町
9月23日	第21回中日本グランドソフトボール大阪大会	大阪府久宝寺緑地公園

編集後記 「春は研修から」シーズンを控えて全国各地では盛んに研修会が開催されています。我がクラブの指導員も全国各地に大忙し。それに伴い、載せたい記事は一杯ありますが、紙面に限りがあります。広報の悩みは尽きません。ご容赦願ひします。

ルール研修会・新年懇親会開催

ふれ愛びっく大阪クラブでは、平成 16 年 1 月 25 日、大阪リバーサイドホテル(大阪市都島区)においてルール研修会・新年懇親会を盛大に開催した。

ルール研修会には、全国障害者スポーツ大会 3 連覇の徳島県山田監督・全日本グランドソフトボール選手権大会 3 連覇の愛知県溝上監督・来年第 5 回全国障害者スポーツ大会を主管する岡山県から東山直己・小林信夫さんの 2 名・兵庫県チームマネージャ井上監督夫人等多くの方々が、足元の悪いところ参加いただくとともに、大阪市・大阪府・京都府チームの選手・ふれ愛びっく大阪クラブ審判員・記録員・総務委員など 40 名が参加した。

研修は、ふれ愛びっく大阪クラブの藤森洋幸審判委員長・松野宏信副審判委員長を講師として、24 の問題を参加者が一緒に議論し、互いにルールの確認を行い、大変有意義な研修会となった。

また、午後 5 時から新年懇親会を開催、全日本グランドソフトボール連盟大橋 博会長、金子芳博事務局長、品川時幸・供田 彰・山根康秀役員、吉川富朗副記録委員長等、多くの来賓を迎え、ルール研修会に参加したチーム選手・監督、ふれ愛びっく大阪クラブ会員等 37 名が参加し、グランドソフトボールへの思い、今後の進むべき道について遅くまで、語り合った。

美女に囲まれ
ゴキゲン!



今年も来ました。
徳島 山田で~す。



・財団法人 日本障害者スポーツ協会に加盟

全日本グランドソフトボール連盟は、平成 16 年度から財団法人日本障害者スポーツ協会に加盟した。当連盟の加入は、日本障害者スポーツ協会の中では、日本車椅子バスケット連盟に次ぐ競技者を抱える大きな連盟となり、連盟の責任は重い。

この加盟により、全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技開催に全面的に協力することができ、将来は連盟が大会を主管することを目指すこととなり、連盟の飛躍がおおいに期待される。

・組織強化のため規約の改正!!

3 月 20 日(土)・21 日(日)、名古屋市南生涯学習センターで役員会を開催し、組織強化、選手の個人登録等の規約改正が行われた。

・ルール検討委員会

同日、全日本GS連盟では、2005 年ルール改正を目指して、ルール検討委員会を設置した。全国各ブロックから選出された、10 名の委員によって第 1 回の委員会が開催された。

全日本グランドソフトボール連盟アドレス <http://gurasohu.2.pro.tok2.com/>

全国各地で研修会盛ん!

札幌 2/15 広島 3/7 岡山 3/13~14 佐賀 4/10~11

全日本グランドソフトボール連盟ルール研修会に講師派遣する!!

全日本グランドソフトボール連盟は、第 4 回全国障害者スポーツ大会地区予選会を成功させるため、大会を主管する都道府県視覚障害者福祉協会・主管団体審判員を対象として、ルール(審判)研修会開催した。

平成 16 年 5 月 29 日(土)・30 日(日)に北海道・東北地区予選会開催を予定している、北海道視覚障害者福祉協会・札幌市ソフトボール協会審判員約 40 名を対象として、本年度第 1 回研修会を盛大に開催した。午前中のルール・審判研修、午後からは札幌 MAX チームの協力を得て、実技研修を行い熱心に受講された。

ふれ愛びっく大阪クラブから藤森洋幸審判委員長(全日本連盟副審判部長)を責任者として、夫々の会場へ 4 名を派遣、「大きな声で正しい判定を!!」のスローガンに夜遅くまでのミーティングを基として、熱心に講師としての役割を行い、受講者の協力を得て、大変素晴らしい研修会となった。



このほか、3 月 7 日には広島県東広島市において開催された「第 4 回全国障害者スポーツ大会中国地区予選会」審判研修会にも 4 名の講師を派遣、また、4 月 10・11 日には佐賀県佐賀市において開催された「第 4 回全国障害者スポーツ大会九州地区予選会」審判研修会に 4 名の講師を派遣した。更に、3 月 13 日・14 日に岡山県岡山市で開催された、平成 17 年に開催される「第 5 回全国障害者スポーツ大会」を主管する競技役員研修会に、4 名の講師を派遣した。限られた時間ながら精力的に指導に当たると共に、研修会を成功させるため精一杯の協力を行なった。

